

# 会報 京都マイコン研究会

第 80 号

(通算97号)

1994年3月1日 発行

発行人 圓 口 佳 昭

## トピックス or ニュース

### 新編集部員入会

編集部 増田則雄

今会報第80号を記念すべくスキャナを導入して紙面をより一層引き立たせる編集をしました。

今後共、バラエティーに富んだ会報に成るように努力していきたいと思っています。

毎回、月末の紙面作りは原稿の校了がギリギリで朝方になることもあり、中小企業経営者にとっては微妙な事が多々あるので、やると言ったかぎり苦しい作業でしたが、私の知人でもあり、今後のDTPの勉強のつもりで教えて下さいと、この会報制作中に私の方に足を運ばれまして、入会させていただきたいとの意向でした。その上我が編集部の一員にも参加していただけるとのこと、私にとっては心強い思いがします。

皆さん、若い人たちを応援してあげて下さい。



## 例会報告 !!

1. 2月5日(PM.6:30)

場 所 大山崎ふるさとセンター

参加者氏名  
若林、岩井、若井、中辻、  
松田、圓口、増田、河原

2. 内 容

6:30~7:00 マイコンサロン

7:00~8:30 CPUの構造

8:30~9:00 質問その他



## 次回例会

開 催 日 3月5日(土)

場 所 大山崎ふるさとセンター

開催時間 PM.6:30

Photo

## 新年会での琵琶湖畔



あまりの寒さと風にカメラも、みんなも凍りついてしまった。

# シリーズ マルチメディア No.2

第二回: MS-Windows版用

## 通信FAXソフト試用・騒動(Tomoppy)

前回に説明した「MS-Windows版用通信FAXソフト・Let Beat FAX」の改良版が、シェアウェア・ソフトの作者からSonyのモデムとともに我が家へ戻ってきた。作者からの好意でシェアウェア・ソフト料金も不要との連絡もあり、早速、MS-WindowsへInstallをして送信試験を行う。

(注) シェアウェア・ソフトの作者とは、最近、雑誌にも高く評価されている「野沢律則」です。このソフトはパソコンでFAXの送・受信が出来る。

そこで送信先を何処を選ぶか、苦悩して(?) MA、MBさん両氏の所が脳裏に浮かんだので両方に初のFAX送信を試みる。文字だけの送信文では問題無く、大成功となる。過去の作業は、送信文をプリンタで印刷、FAXへ掛けて電話の番号を押す、送信ボタンを押すことであった。それが、パソコンに電話番号と送信名を登録するだけで、一連の操作が嘘のようにキーボードの前に座っているだけで終わるのだ。

MS-Windowsでの操作をもう少し詳しく説明しよう。どのアプリケーションでも、作成した文章または、計算表や絵を印

刷するコマンドから、FAX送信が出来るのである。それは、メニューバーの「ファイル(F)」をクリックしてダイアログを開けると「印刷」が出る。そこで各社のプリンタ機種のリストを表示すると(勿論、FAX送信ソフトが組込んであること)FAX送・受信のタイトルが見える。そこをクリックするとFAXのアプリケーションが画面に現れる。次に、前に説明したように送信先リストをクリックするとフォームが動作して送信を始め、同時に送信文も画面に表示して送信状況を知らせ、終了すると送信履歴もファイルに残してくれる。本当に至極便利で仕事に快適に使っている。相手先のFAX機の印刷方式がトナーを使用してPPC紙に印刷した結果を見ると、レーザー・ショット、ページプリンタ方式のプリンタで印刷出力した印字品質は同じで、写真や絵など驚くほど綺麗に送信できていた。

しばらくしたら、MBさんがオムロン・FAX兼用モデムを手にいれて、ご自分のところの電話とFAX専用電話を使って試験送信を始めた。その試験の結果、モデムに付属していたDOS専用のFAXソフトでは良好に送受信できたとの連絡が入った。けれども、先の「Let Beat FAX」の送信が不調とのことであった。このことが問題となり、各所へ事件が拡大する。

次に、各所へ問題を投げかけた内容を列挙すると、

1. NTT電話局: 電話回線の品質調査依頼をした。調査結果は特に異常が認められない。
2. オムロン(東京): フォームにFAXコマンドの詳細がマニュアルに記載が無いから、技術資料を要求し入手。これもプログラム開発上必要との理由で折衝したようだ。
3. 「Let Beat FAX」の作者・野沢氏: 拙者経由でオムロン・フォームの指定があるが、FAXコマンドに問題がないか。また、後述する通信コマンドの伝送信号の測定結果の資料を郵送しての解決策をパソコンの個人メールで依頼する。(音信不通となる)
4. FAXメカ(京都・村田機械): FAXが不調であることを通知。メカの依頼で拙者のマシからWindows上から「Let Beat FAX」を使って送信する。結果は、文字文書はokであったが、MAさんへ送信して受信できた、ハフマン調の白黒多い絵の物は、途中でFAXから切断してしまっ駄目であった。

この顛末は、次号に期待下さい。

(注) もう、過去の出来毎ですから、MBさんからの説明を受けた内容を聞き取り間違えている部分があるかも知れません。失礼な個所があれば、訂正の連絡を戴きたい。

## スキャナ導入編 (増田則雄)

### 第1回

メーカー エプソン  
品名 GT6500  
最大解像度600DPI

今月号から使用させていただきましたカラー・スキャナについてのシステム構成と、その設定、出力に至ま

での色々な私が体験したことを次号から綴らせていただきます。

まず、スキャナを使用するには、パソコン本体とスキャナ本体どちらにも別売のパソコンの機種に合った下記に図で示したようなボードが必

要でした。(約4~5万円)

今回は、紙面がなくなりましたので次号から詳しく記載させていただきます。

DOS/V 互換機  
486DX2 66MHz

エプソン GT6500

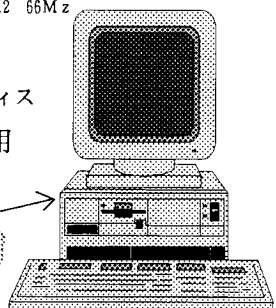
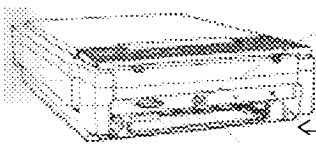
スキャナ用  
シリアル・パラレル I/Fボード

インターフェイス 双方向パラレルインターフェイス

IBMPC, AXシリーズ用 DOS/V 用  
パラレル I/Fセット(型番GTATSP1FS)

GT65RSPRB

RS-232Dシリアル



\*\*\*\*\*  
from PCVAN :日電・新製品の情報 by Tomoppy  
\*\*\*\*\*

#1077/1084 ソフトウェア関連  
★タイトル (WINDOWS2) 94/1/27 17:53 (36)

Windows 3.1 拡張セット おちやら

★内容  
昨日のNEC製品強化の中でちょっと気になるものがありましたのでご紹介。(^^)  
Microsoft Windows 3.1 拡張セット (PS98-1122-31/51) ¥3,000です。

内容は、(1) 海外製Windows 777 実行環境  
(2) FontAvenue外字入力及び文字修飾機能  
(3) DOS AP インストール  
(4) カリグラフィックモード A/B用高速ディスプレイ  
となっています。

【概要】  
(1) 海外製Windows 777 実行環境  
☆日本語モードと英語モードをボタンで切り替え可能。これにより「システム」を英語版と等しくさせて、画面表示のズレをふせく。  
☆著作権、商標を表す(まるC)、(まるR)←わかる(???)の文字化けを防ぐ。  
☆インストール時にドライブ番号が固定されている777 実行環境への対応。  
★ただし、英語モードで「DOS」ログは不可。ハード、BIOSを直接いじる物はだめ。  
(2) FontAvenue外字入力及び文字修飾機能  
☆FontAvenue専用グラフィック外字入力、新規の外字作成、グラフィック経由の既存文字取り込み編集作成が可能。  
☆FontAvenueソフトに対して7種(影付き、白抜き、立体、太文字、太影付き、太白抜き、太立体)の修飾をして、表示、印刷が可能。  
(3) DOS AP インストール  
☆MS-DOS 777 実行環境をWindows上からインストールし、777登録ができるユーティリティ。  
(4) カリグラフィックモード A/B用高速ディスプレイ  
☆Windows 3.1に標準添付のドライブよりも1.3倍速い。  
【海外AP実行環境】  
・メモリー 5.6MB以上 (Windows 3.1のシステムを含む)  
・HD容量 3MB  
・サポート解像度 640x480 以上 (ディスプレイに依存、ただしシステムは各解像度において16ドットのみサポート)  
うーん、これで3,000円なら買っておいでも良いかな。(^^) おちやら

#736/741 ハードウェア  
★タイトル (DLE36698) 94/1/28 22:4 (58)  
BfとAsの差 ろでます

★内容  
これは、かなりの点において違うといった方がいでしょう。まとめて箇条書きにでもしてみましよう。

1. Bfには拡張グラフィックアーキテクチャがない。  
拡張グラフィックアーキテクチャというのは、A型のMATEやMULTIがもっている、ウィンドウアクセラレータに頼らない640\*480ドット256色表示の環境です。  
市販のゲームソフト等で「MATE・MULTI対応」と書いてあるのは、この拡張グラフィックアーキテクチャを使っていることを表しています。  
BfをはじめとするB-MATE (Bf、Bp、Bs、Be)は、この拡張グラフィックアーキテクチャを持っていません。これは、B-MATEの設計思想が、FELLOWにウィンドウアクセラレータを標準装備させることにより、企業向けの安価なWINDOWSマシン(あー、いい書き方じゃないな)を作ることだったからです。企業でOA用にWINDOW Sを使う場合には、ほとんどの場合、A型MATEが持っている機能はWINDOWS対応部分を除いて必要ありません。ですからこういった作りになっているのです。  
B-MATEの内部の詳しいことは、雑誌「ぎべ」の94年2月号(今本屋で売っている号)の「解体新書」シリーズで書かれていますので参考してください。(記事ではBpを使っています)

2. Bfにはメモリ増設における「14.6MBの壁」がない。  
11月に強化した98新シリーズの主力(MATE2、B-MATE、FELLOW2)から(実はその前のAfから)このメモリの制約が撤廃されています。これは、WINDOWS上でマルチメディアの編集をやったり、より大規模なOS(例えばNT)等を動かす場合、14.6MBではメモリが絶対的に足りないからです。  
3. Bfにはローカルバススロットがない。  
1. でも書いたとおり、BfはもともとFELLOW2と同じ構造をしています。ですから、A型MATEについているローカルバススロットはありません。  
4. Bfにはファイルスロットがない。  
理由はまたもや1.と同様。代わりにファイルベイがありますが、ファイルスロットほど汎用性はありません。ファイルベイには、IDEインタフェースしか来ていませんので、いまのところ、ディスクとCD-ROMしか増設はできません。  
ファイルスロットはSCSIやFDDなど、いくつかのインタフェースが来ていますので、多彩な利用法があります。しかもファイルスロットは、前面パネルを外しただけで抜き差しが可能ですが、ファイルベイは筐体上部カバーも外さないと増設ができません。とりあえず、今の所思いついたのはこれくらいでしょう。

ろでます DLE36698/MEGA-PC-VAN  
KANAZAWA-KU, YOKOHAMA, JAPAN

#737/741 ハードウェア  
★タイトル (DLE36698) 94/1/28 22:6 (101)  
98新型>今回の強化についての私見 ろでます

★内容  
今回の強化機種群とその意義について、私個人としてまとめてみました。

◎マルチメディア関係の強化  
Ceを強化し、Ce2とCs2を投入しました。これは、教育市場とホーム・パーソナル市場における優位の強化が主眼でしょう。教育市場において、98は過去にその数に物を言わせて市場を独占していましたが、最近MacやTOWNSにかなりやられているようです。その巻き返しと、これからの市場であるホーム・パーソナル分野の攻略をより強化するための、価格競争力の向上が今回の強化につながっています。

◎サーバ関係の強化  
従来のNetWareやLANマネージャ等に加え、あらたにWindows NTが加わることにより、ネットワーク関係の機器の重要度が増しています。今回のSV-H98の価格の値下げとSV-98/1の投入は、この市場における競争力の維持・向上がねらいです。AT互換機に対する低価格サーバをもたなかったNECは、この分野で大きく出遅れています。その穴埋めをSV-98/1で行うとともに、サーバマシン系列全体の価格を下げ、競争力をあげていくことが必要だったわけです。

◎ノートパソコンの強化  
既に現在のノートパソコンは、オフィスにおける「片づけられるデスクトップパソコン」という位置づけが明確になってきてしまい、従来ノートパソコンに課せられていた【携帯性】は、より小型の「サブノート」に期待されるようになりました。そのため、過去のマシンほど省電力性やバッテリーでの長時間駆動の必要性がなくなってきました。結果、(J)でない高速486CPUの搭載やメモリ関係の強化等のデスクトップ並の性能強化とコストダウンが施されました。それが、今回発表のNS/Aです。バッテリーはレジャー動作のためと、ちょっとした移動のための必要最小限の物となり、プリンタやマウスのインタフェースはデスクトップと統一。また、それまで(NS/R)の98NOTEシリーズ専用の拡張カードスロットを、業界標準のPCカードスロット (JEIDA Ver4.1/PCMCIA2.0)に変更し、オープン化を進めています。また、携帯性については、B5ファイルサイズのサブノートであるNL/Rを商品化して対応しています。標準搭載メモリが3.6MB。太郎Ver5とLotus1-2-3R2.4Jをディスクにインストールした状態でリリースは賛否両論でしょうが、買えばすぐ使えるというのは便利でしょう。でも、やはりソフト無しのモデルも欲しかったですね。増設メモリはNS/R用のまま使えます。NL/Rは2台目のマシンとしての需要を見込んでいるようです。また、ビジネスにおける携帯用パソコンとして、また会社と自宅の両方で使う「持ち帰ることができるパソコン」をめざしたようです。ちなみに、B5というのはタッチタイピングできる最小の大きさだそうでN

ECはこれより小さいマシンは出すつもりはないようです。NL/RにはRGB端子がついていません。これはちょっと残念です。半透過型白黒液晶画面はちょっと暗いので、自宅での運用には外付けでCRTがつけられたり、コンパタ経由でTVに写したりできれば便利だったのですが.....

◎ハードディスクの強化  
ついに純正のSCSI-2対応のディスクの登場です。最大1GBまでのラインアップですが、さすがに1GBだと高いですね。なお、SCSI-2対応のPC-HD\*\*\*Eシリーズは、PC-9801-92やPC-9821A-E10、PC-H98-B12等の高速モード対応インタフェースボードでないと接続できません。気をつけましょう。なお、他社のSCSI-2対応のインタフェースボードとの相性はチェックされていませんから、今後問題がでてくるでしょう。個別に対応するしかないでしょうね。ちなみに、555ボード(PC-9801-555系のボードと、FA以前のSCSI内蔵本体のインタフェース)では、このディスクは接続不可能です。一応、いままでのユーザー向けに従来型の廉価版も同時にリリースしていますが、この辺の対応は、賛否が分かれるところでしょ。

◎プリンタの強化  
一番の売れ筋がA3対応になってきたための強化です。B4までしか対応していなかったPR2000シリーズを強化し、600dpi相当の解像度とA3対応という武器をもったのがり込みですね。NECではA3対応というPC-PR4000シリーズがありました。しかし、高価なため、他社のレーザープリンタに対抗できなかったのです。PR1000FX/4は、FAX機能を持ったプリンタです。ふつうのFAXとして使えるほか、コピー機としても、そして当然レーザープリンタとしても使えます。また、FAXモデムのように出力をそのままFAX送信することも可能です。けっこう便利なマシンですが、FAX送信中にプリンタで印刷しようとする、印刷されずにそのイメージがFAXに流れてしまうというまねけな面もあります。こういうのは改善して欲しいのですが、なんでそういう仕様になったのかよくわかりませんね。  
長くなっちゃったので、このへんでおわりにしましょね。(^^)

ろでます DLE36698/MEGA-PC-VAN  
KANAZAWA-KU, YOKOHAMA.

\*\*\*\*\*  
 form PCVAN Windows NTの話題 by Tomopy  
 \*\*\*\*\*  
 #1088/1099 ソフトウェア関連  
 ★タイトル (WINDOWS1) 94/1/28 11:36 (76)  
 RE#1080:NT】個人での利用? 岡崎  
 ★内容

>=まあ、企業に限らず、個人で使ってもメリットはあるのではないかな。  
 > 製品の出来次第だけけれど。

そうですね。私は最初、Windows NTの個人利用には懐疑的だったのですが、実際にβ版を使って見て気が変わりました。  
 以下の文章は、昨日、やはりNTの話題で、IBM CLUBに私が書き込んだ文章です。  
 個人ユーザーには無用とかいう話は良く聞きますけど、私はβバージョンをしばらく試用して、素直に「欲しい」と思いましたね。よく雑誌やパソコン通信で目にする意見にたして、私見て反論すると...

○速度について

i486では遅い、Pentium以上が必要という話や、16MB程度のメモリでは少なすぎて使えない、という話を聞きますが、私が試用した限りでは、i486SX 25MHzの98MULTIで試用してさえ、非実用的ほど遅いとは思いませんでした。むしろ、いくつかの処理(パソコン通信とか、Video for Windowsの再生とか)は通常のWindows 3.1より快適に動作しました。

Microsoft WordやBorland Quattro Pro、Paradox for Windowsなどに関しても、特に不自由だとは思いませんでした。ちなみに、うちの(というか、家内のパソコン)98MULTIの搭載メモリは14.6MBです。特にリソース不足になることもありません。

ついでに、Win32対応のアプリケーション(Windows NTのアクセサリや、Borland C++ 4.0のWin32で再コンパイルした自作ツール)に関しては、通常のWindows 3.1より高速に動作して快適です。

変な例えかもしれませんが、V30のマシンで太郎V3、i80286マシンで太郎V4を使っていた頃に比べれば、i486SX 25MHz + 14.6MB RAM + Windows NTでWindowsアプリを使ったほうが快適に思えます。

○価格について

上述のように、i486SX 25MHz + 14.6MBでもそこそこ使えるくらいですから、Windows 3.1が動作する最低環境よりは数層が高いものの、よくいわれているように、Pentium + 32MBとかいうほど資源が必要とは思えません。OS自体も、ネットワーク機能標準装備してMS-DOSも不要で5万円程度で買えるわけですから、特に高価というほどの価格ではないと思います。

一方、Windows NTのメリットを考えてみると...

○プリエンティブマルチタスクなので、通信ソフトのようなリアルタイム処理が快適

○MS-DOSとの複合OSではないので、動作がWindowsよりはるかに安定している。

○255文字のファイル名が使える

○ファイルシステムの信頼性が高い

○マルチユーザーシステムなので、家族で同じパソコンを使用していても、お互いに好きな環境を構築できる。

○MS-DOSのコンベンショナルメモリをひろげるために、config.sysやautoexec.batの設定に四苦八苦しなくていい。

など、パーソナルユースで考えても、いろいろなメリットがあります。とくに、255文字のファイル名や、ファイルシステムの信頼性は、思った以上に魅力がありました。

さらに、我が家の場合は私が仕事(自営業なので)で使っている2台のパソコンと、家内が趣味で使っているパソコンをPeer to PeerのLANで接続しているのですが、その観点で見れば...

○ネットワーク機能を標準装備しているの、安定したネットワーク環境を使用できる。(Windows 3.1 + NOSの環境では相性にうろさく、よく落ちる)というメリットがあります。

確かに、現状ではWin32対応のアプリは皆無に近い状態で、Windows 3.1用のアプリをNTで使用する若干遅くなるというデメリットがあります。また、Windows 3.1よりも、「必要最小限」のシステムのレベルが少し高いというデメリットもあります。

しかし、トータルバランスで考えたら、私には充分魅力的に思えました。

我が家で、今すぐWindows NTに移行する計画はありませんが、その大きな原因は、今使用しているEthernetアダプタにWindows NT対応ドライバが未発売、今使用しているWindowsアクセラレータボードに、Windows NT対応ドライバが未発売、という2点です。

岡崎

#1096/1099 ソフトウェア関連

★タイトル (UXE86182) 94/1/29 1:25 (19)

NT】同感です TAKAO

★内容

岡崎さんの考えとほとんど同じです。

\*\*\*\*\*

遂に日電・PC/AT互換機を製作か?

from 98Club of PCVAN

(Tomopy)

\*\*\*\*\*

#764/772 ハードウェア

★タイトル (RBE9235) 94/2/3 19:24 (32)

NEC ついにIBM互換機発売する 日経新聞 2月3日

★内容

日本経済新聞 2月3日の掲載記事より

NEC 1年後までに商品化

NECはパソコンの「PC98シリーズ」にIBM互換機用ソフトが動く機能を搭載する方針を固めた。「98」のアーキテクチャー(設計思想)は変更せず、ソフト処理によって、実質的にIBM互換機としても使えるようにする。

1年後をめどに商品化する計画。1台で「98」用の日本語ソフトと、世界中で流通しているIBM互換機向けソフトの両方が利用できる。NECは独自路線を堅持してきたが、IBM機用のソフトも取り込むことで、IBM互換機勢をけん制すると同時に新市場の開拓を狙う。

第一弾として「98」上で英語版のウィンドウズ3.1用アプリケーション(通用業務)ソフトが正常に稼動するよう、1部仕様の変更に着手した。欧米で増えているCD-ROM(コンパクトディスクを使った読み出し専用メモリー)の海外マルチメディアソフトの最新版がそのまま「98」上で動くようになる。「98」は日本語ソフトの使用を前提としており、英語版ウィンドウズ3.1用ソフトの2割前後で何らかの作動障害が起きていた。

さらに1年後をめどに「98」上でIBM互換機用ソフトが稼動する変換ソフトを開発、順次搭載していく。ユーザーは画面上で簡単な切り替え作業をするだけで、98用ソフトとIBM互換機用の海外ソフトが使えるようになる。

SONYの「ベーク」と「VHS」の事と似てきた「純正日本」パソコンも外国に吸収されるのか?

私は自宅に「9821AS」(昨年春購入)に中古の「IBMパソコン」本体にマルチディスプレイがいいと思う。

NEC 生産ラインで「簡素化」「人員整理」をする会社に「IBM5551-TOA」

#765/772 ハードウェア

★タイトル (ABW68407) 94/2/3 21:45 (7)

互換機...

★内容

98の互換機ソフト稼働へというニュースは、少し前に日本工業新聞で報じられていましたが、98サーバーも対象で、Netwareの英語版ソフトが稼働するらしいです。でも98DOSのソフトが徐々に減ってきています。WIN用が増加したという事。から、この流れは当然でしょうか?

NAO-SOFT

通信ソフトを使う限り特別にNTを意識することはないし、むしろ速い。画面回り(フォント回り?)の性能が早いものかもしれません。値段にしても実売はCD-ROM版で4万ちょっとくらいだろうから、ワープロ一本買う感覚でWINレベルのOSが買えるというのは魅力です。私はメモリ13.6MBですが、普通のWindows APを使う分にはこの程度でも十分実用になると思います。

NTは一般ユーザーの低い関心にもかかわらず、ある意味で非常にタイミングよく出たのかもしれない。というのはちょうど不況で企業もコンピュータメーカーも真剣に「ダウンサイジング」を考えているところだからです。企業もメーカーもメインフレームやオフコンでやっていた仕事を一気にパソコン&NTで実現しようと力を入れているように思われます。日刊工業新聞は「NTによってマイク

ロソフトのパソコンメーカーとIBM(メインフレーム)との全面戦争が始まった」と書いていました。DECと富士通はNTの新聞1面広告まで出していました。

今日(もう昨日か)は日本語版NTの発売日でしたが、私はCD-ROM版を買っているのと触ってみるつもりです。NEC版NTにはWIN3.1拡張セットに入っている機能もたいたい入っているようです。

#1097/1099 ソフトウェア関連

★タイトル (GVW79342) 94/1/29 1:35 (38)

NTについて エマレッタ

★内容

雑誌や某所で安定性が疑問視されているNTですが私の使った限りでは実に安定していました。

何とかが落とそうと努力の限りを尽くしましたが駄目でしたOS/2よりも上ですね

NTの良いところは

1. システムリソースを気にしなくてよいほどある
2. TRUE TYPEが32bitになったため異常に速い
3. メモリー使い放題

といういろいろありますがなんとと言ってもシステムリソースの大幅な拡大ですね、WIN3.1ではEXCELとWORDとACCESSを立ち上げるともうほとんどリソースが無くなってしまいます。

ただ電源を入れてからプログラムマネージャーが使用可能になるまで3分ぐらしかかるので個人の使用ではちょっとつらいです。

NTの一番の問題は本当にフルマルチタスクができていいのか? というのにあります。というのはプリントマネージャーで印刷しながらスクリーンセーバーを動かしているとスクリーンセーバーの動きがプリンターの印刷に同期して動いたり止まったりします。

まあメモリーが14.5Mしかないことも原因だともおもいますが、ベンチマークが20万円位で買えるようになればNTは一気に普及すると思います。そんな先のことでないよう

きっと2、3年先にはそんな状況になるでしょう

エマレッタ

みぞ ぐち とも お  
溝 口 知 男

## 1、マイコンとの出会い

昭和55, 56年テレビでマイコンを使ったマイクロマウス大会を見て私もやってみたいと思った。それまではマイクロコンピュータという言葉さえ知らなかった。

それから小黒正樹著の「マイコン基礎講座」と言う本を手にいれ読んだ。

この本は電気のON, OFFを数字の1と0で表せば2進数で計算ができること、2進数の加減、剰余からICのゲートのことまでマイコンのハード的な基礎を書いた本であった。

その頃、私の仕事は電気工事業だったので一応電気のことにはプロだったのですが、マイコンの”バス”, ”スリーステート”等の概念が理解できなくて困りました。

その後、同じ人の「マイコン入門講座」を買ってその本にワンポートマイコンのTK80やパーソナルコンピュータのPC8001やMZ80C, APPLE II等が紹介されていました。私はPC8001が買えなくて、TK85 (TK80の後継機種)を買ってハンドアセンブルで遊んでいました。

## 2、この会との出会い

TK85を買って半年か1年した頃に大阪の天満橋でマイコンショウがあり、その一角で本会 (又は、マイコンクラブ大阪支部??)のブースがあり、竹本さんという人がいてその人に京都マイコンクラブがあることを聞いてすぐに入会しました。

本会が出来て1年くらい後だと思います。

## 3、パソコンとの出会い

その後、PC8801が出たときにすぐに飛び

付いてフルセットを購入しました。(これがそもそも間違いだった)

その後、すぐにPC9801が出たが当然買えなかった。

この8801は何にも役に立たず(役に立てなかった)数年が経ちました。

9801VM2が出た頃、仕事でCADを使うと言って9801VM2とCADソフトを購入しました。

## 4、現在使用中のハード環境

NEC PC9801RA21 7MB  
I/Oデータ 486CPU  
I/Oデータ GA-1024W  
ウインドウズアクセラータ  
ハードディスク 240M 外付け

AXUM DOS/V機 16MB  
ハードディスク 340M 内蔵  
CD-ROM サウンドボード

エプソン386ノートA 4MB 増設

## 5、今後購入予定のハードとソフト

現在一番よく使っているのは386ノートAなのでこれの予備として今度新しく出た9801NS/Aがもう少し安くなれば買うつもりです。

## 6、本会と部活動への希望

本会は皆さん和気あいあいと自由に物が言えるので気に入っています。

だから別に希望はありません。

今後ともよろしくお願いします。

PHOTO

1994.1.22-23

# 新年会報告 VOL.2

主催 京都マイコン研究会

## 琵琶湖畔にて

(みんなの顔が風に吹かれて  
ハッキリしない位風が強い時)



## MS-Excel講座

(講師 溝口氏)

熱心に講師に質問の  
ところ



新年会での最大のクライマックス

## 雑炊三味の場面

